

さかい〜統計情報館

The statistical report of Sakai City

Vol.5

今回の数字

20.7%

作成日：平成19年9月19日

作成元：坂井市役所 情報政策課

TEL:0776-50-3014

FAX:0776-67-7509

MAIL:jyouhou@city.fukui-sakai.lg.jp

〜おじいちゃん・おばあちゃんも働き者〜

9月17日（月）は、「敬老の日」でした。国民の祝日の一つで、平成14年までは、毎年9月15日でしたが、国民の祝日に関する法律（祝日法）の改正により、9月の第3月曜日となりました。「敬老の日」は、この法律によると「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う。」日と趣旨が定められています。坂井市内の小中学校の中には、敬老の日にあたり、学区の「おじいちゃん・おばあちゃん」に「絵手紙」を書いて、地区の自治会長さんや民生委員さんといっしょにお宅に届けている学校もあるようです。今回は、「敬老の日」にちなんで、坂井市の「高齢者」についての統計資料を紹介します。

現在、「高齢者」の年齢として統計や国際比較、内閣府の高齢者白書等、その他一般的に用いられている年齢は65歳以上とされています。平成17年国勢調査の結果によると、坂井市の65歳以上人口は、18,715人で総人口（92,318人）に占める割合（高齢化率）は、20.3%となっています。つまり、坂井市のほぼ5人に1人が高齢者ということになります。坂井市の高齢化率を全国・福井県・県内の他の自治体と比較してみました。全国より、わずかに高い割合となっており、福井県より、かなり低い割合となっていることがわかります。また、県内17市町の中では最も低い割合です。全国の都道府県の中で福井県の割合は、高い方から数えて23番目で、最も高いのは島根県の27.1%、最も低いのは沖縄県の16.1%です。

現代の人口の構造を表現して、「高齢社会」「高齢化社会」という言葉を耳にしたことがあると思います。内閣府の「高齢社会白書」によると、区分に明確な定義があるわけではないようですが、高齢化率が7%を超えると「高齢化社会」、14%を超えると「高齢社会」と呼び、今後到来が予想される一段と高い社会（21%を超える）を「超高齢社会」と呼ぶようです。この割合の区分に坂井市の高齢化率を当てはめてい

高齢化率の比較

市町名	高齢化率 (%)	順位
全国	20.1	
福井県	22.6	
坂井市	20.3	17
福井市	21.3	14
敦賀市	20.8	15
小浜市	26.0	7
大野市	27.5	5
勝山市	28.1	4
鯖江市	20.5	16
あわら市	24.0	11
越前市	21.7	13
永平寺町	22.8	12
池田町	38.9	1
南越前町	28.9	2
越前町	25.6	8
美浜町	27.3	6
高浜町	24.3	10
おおい町	25.4	9
若狭町	28.2	3

出典：平成17年国勢調査

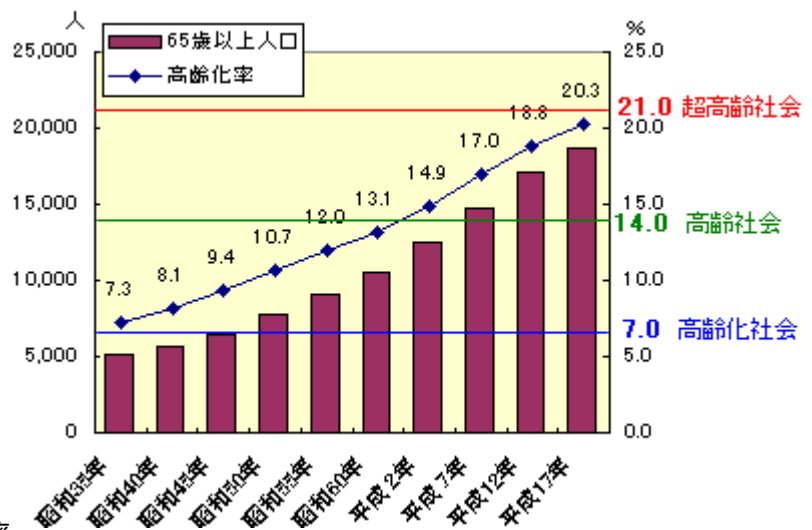
くと、昭和35年に既に「高齢化社会」に突入しており、それから30年から35年経過した平成2年から7年の間に「高齢社会」となり現在に至っていますが、「超高齢社会」がもう直ぐ目の前まで迫っています。福井県全体では、既に「超高齢社会」に突入していますし、都道府県の中で高齢化率の最も低い沖縄県でさえも「高齢社会」です。この日本全体が「超高齢社会」目前です。約1年前の数値になりますが、「福井県の推計人口」によると、平成18年10月1日を基準日とした坂井市の※1)推計人口は、総人口92,468人、うち65歳以上人口は19,171人となっています。平成17年国勢調査から総人口は150人の増加ですが、65歳以上人口は456人増加しています。そのため1年間で高齢化率は20.7%となり、なお一層「超高齢社会」に近づく結果となっています。

※1)推計人口：平成17年国勢調査の調査基準日（平成17年10月1日）から推計基準日までの住民基本台帳法の規定に基づき、住民票に記載または削除された者、外国人登録法に基づき外国人登録原票に登録または閉鎖された者の数を集計し人口を推計している。

坂井市65歳以上人口の推移

調査年	総人口		65歳以上人口		高齢化率
	(人)	指数	(人)	指数	
昭和35年	70,783	98.1	5,177	67.2	7.3
昭和40年	70,027	97.0	5,646	73.2	8.1
昭和45年	68,797	95.3	6,492	84.2	9.4
昭和50年	72,174	100.0	7,708	100.0	10.7
昭和55年	75,983	105.3	9,089	117.9	12.0
昭和60年	80,707	111.8	10,547	136.8	13.1
平成2年	83,372	115.5	12,454	161.6	14.9
平成7年	86,870	120.4	14,778	191.7	17.0
平成12年	91,173	126.3	17,147	222.5	18.8
平成17年	92,318	127.9	18,715	242.8	20.3
平成18年(推計)	92,468	128.1	19,171	248.7	20.7

指数：昭和50年の人口を100としたときの各調査年人口の比率
 指数 = 各調査年人口 / 昭和50年の人口 × 100



出典：国勢調査
 福井県の推計人口

前回は、坂井市の労働力人口や就業者について掲載したところですが、今回、その中の高齢者に焦点を当てて紹介します。65歳以上の労働力人口は5,222人（男性3,274人、女性1,948人）で※2)労働力率は27.9%、そのうち、就業者は5,034人（男性3,118人、女性1,916人）で※3)就業率は26.9%となっています。福井県・全国と比較してみると労働力率・就業率ともに、坂井市の値が大きく上回っています。坂井市は女性だけでなく、高齢者も働き者だということが伺えます。また、その就業状況について、産業分類別の就業者数をみると、第1、第3次産業の就業者が多く、特に、第1次産業では全体の就業者の6割以上を高齢者が占めており、坂井市の第1次産業が、高齢者に支えられていることが分かります。

※2)労働力率：65歳以上人口に占める労働力人口の割合。

※3)就業率：65歳以上人口に占める就業者の割合。

高齢者の労働力率・就業率の比較

区分	労働力率(%)		就業率(%)	
	男	女	男	女
坂井市	27.9	42.4	26.9	40.4
福井県	24.8	37.4	24.1	35.9
全国	22.1	33.0	21.1	31.0

産業分類別就業者数

産業分類	総数	第1次産業	第2次産業	第3次産業	分類不能の産業
坂井市 就業者数	49,748	2,901	17,810	28,891	146
(構成比)	(100)	(5.8)	(35.8)	(58.1)	(0.3)
坂井市 高齢者 就業者数	5,034	1,812	1,215	1,987	20
(構成比)	(100)	(36.0)	(24.1)	(39.5)	(0.4)
高齢者が占める割合	10.1	62.5	6.8	6.9	13.7

出典：平成17年国勢調査

★今回の数字の答え★：坂井市高齢化率（平成18年推計人口）